



中国湘潭大学とのダブル ディグリープログラム

理事長 佐藤 一郎

徳島県と中国湖南省との経済・観光・文化など幅広い分野に亘る交流に関する協議を受けて、四国大学は2011年に湖南省湘潭市にある国家重点大学の湘潭大学と学術交流協定を締結しました。以来交換留学や訪問留学制度が整備され、既に湘潭大学から41名、本学から8名の学生が相互に派遣されています。そして、この度2017年12月に、新たな留学制度として本学経営情報学部と湘

潭大学商学院の間に「複数学位制度」(ダブルディグリープログラム:DDP)が締結されました。このDDPは、学部4年間(自国大学で2年半、相手国大学で1年半)の学修によって、四国大学と湘潭大学からそれぞれの学位が授与されるもので、グローバル化が一層進展する世界、特に東アジア地域において国際的に活躍できる人材を育てることを主な目的としています。

本学では、有意義な留学ができるように、入学時から集中的に中国語講座や特別講座を開講し、また奨学金制度や就職支援体制も整えています。

湘潭大学へ留学する学生は勿論、湘潭大学からの留学生受入によって本学の学生が、色々なギャップを実感して世界の多様性に気付くこと、またそのギャップに触発されてより積極的に学習を進め自分自身の成長に繋げることを大いに期待しております。



“阿波藍”の 知の拠点：四国大学

学長 松重 和美

平成30年春、キャンパスは卒業生との感慨深き思い出・別れ、そして新入生のフレッシュで賑やかな雰囲気に溢れます。さて、最近の四国大学、大学改革などの結果、幾つか新たな展開があります。例えば、①全人的自立の基盤を形成する四国大学スタンダードの充実やアクティブラーニングの活用など、教育面での内容や質が向上、②“公認心理師”、“消費者教育”、“スポーツ栄養学”やDDP(ダブル

ディグリープログラム)など新分野やグローバルな取り組みが加速、③体系的な地域教育の開始や文部科学省地(知)の拠点(COC,COC+)整備事業など地域連携・貢献活動が活発化、そして④「新あわ学研究所」の設立、大学的徳島ガイドの出版やあわ検定の実施など、新たな視点での地元徳島の文化を研究する分野融合的研究の進展など、地域の方々も注目する話題が多くなるなど、“先進的地域貢献大学”としての四国大学のブランドも高まってきています。

更に、2020年東京オリ・パラのシンボルカラーに選ばれ、徳島県の色に決まった藍色。四国大学では、約半世紀の歴史が有する「藍の家」を基盤に文科省の私立大学研究ブランディング事業に採択された「阿波藍の知の拠点」構想が動き始めるなど、藍に関する文化・科学的研究は、四国大学の新たな特徴として、日本・世界に発信されることが期待されています。在学生のみならずご父母、同窓生の皆様にも是非注目して頂ければと思います。

平成29年度

父母会だより



父母会会長あいさつ

父母会会長 河野 稔彦

早春の候、父母会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、四国大学の父母会活動に深いご理解とご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年六月の父母会総会におきまして、平成29年度の会長就任のご承認を賜り、副会長ほか一部新たな役員交代の中でスタートいたしました。何をすればよいのか、私で務まるのかと不安もありましたが、子どもたちの大学生活における活動支援の手助けが出来ればとの思いで努めて参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

さて、大学でも新しい実践教育による改革が進められていますが、進化していく社会の要請に対応できる人材育成が求められているからであります。社会ではAIやIoTといった人工知能やモノのインターネットなどの研究が進み、あらゆる分野で便利に成る反面、これって！仕事に人がいらなくなる時代が近づいているのかなという心配もあります。

景気回復で、大学生の就職戦線は売り手市場のまましばらくは続いて欲しいと願いつつ、父母会の皆様にはいろいろ心配もあらうかと思いますが、子どもたちを信じて充実した大学生活が送られるよう、父母会としても積極的に支援して参りますのでご協力の程よろしくお願いいたします。

地区別父母懇談会開催

平成29年度の地区別父母懇談会は、6月25日の沖縄県地区を初めとして、高知県・愛媛県・香川県・中国地区（広島県）で次のとおり開催しました。各会場には多数の会員の方々の御出席をいただきました。

各地区別父母懇談会では、地区担当の父母会副会長の挨拶に始まり、松重学長から「大学の概要と最近の取り組み」についてのプレゼンテーション等を始め、本学の現状報告を行いました。

その後、学部・学科別懇談や保護者と教員との学科・専攻別個別面談が行われ、学生の日常生活や学業、成績、進路等についての思いや願い、要望等を熱心に相談されていました。

各会場での個別面談待ち時間には、保護者の方同士がお話をする場面も見受けられ、親睦を深める良い機会にもなったのではないかと思います。

来年度も地区別父母懇談会開催を予定しておりますので、今年度御出席できなかった方も是非ご参加ください。平成30年度の開催日程は、案内はがき及びHP等でお知らせいたします。

平成29年度地区別父母懇談会開催一覧

沖縄県地区父母懇談会	6月25日(日)
高知県地区父母懇談会	9月2日(土)
愛媛県地区父母懇談会	9月3日(日)
香川県地区父母懇談会	9月9日(土)
中国地区父母懇談会	9月10日(日)

父母会第1回評議員会及び総会開催



平成29年6月11日(日)午前10時30分から本学本館大会議室にて、中川恭子会長はじめ役員・評議員61名、大学側からは佐藤一郎理事長・松重和美学長はじめ関係者17名が出席し、第1回評議員会を開催いたしました。中川会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、続いて予定された議事について審議しました。

午後1時から共通講義棟にて、会員265名、大学側20名の出席のもと総会を開催いたしました。前年度事業・決算報告の後、役員改選においては、中川会長及び三岡、山村、望月、上間、梅原各副会長が退任され、後任として河野稔彦監事が新会長に就任、舟木正氏、大栗朱実氏、具志堅政伸氏、別府智之氏、中村貴子氏が新副会長に、前川好弘氏が新監事に就任され新体制が整いました。退任されました6名の旧役員には、松重学長から感謝状と記念品が贈呈されました。その後、河野新会長により総会議事進行が行われ、予定された議案は満場一致で全て承認されました。

議事終了後は松重学長から「大学の現状と最近の取組みについて」、小笠学生支援担当部長から「学生生活について」、榎本就職キャリア支援部長から「四国大学の就職状況について」と題して大学の現状報告が行われました。

総会終了後は各学科・専攻ごとに、保護者と教員による個別面談が実施されました。

父母会第2回評議員会開催

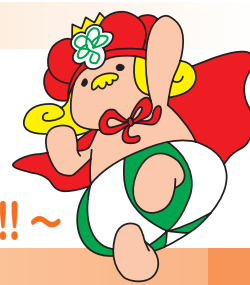
平成29年11月11日(土)午前10時30分から、全学共通・地域教育センター大演習室にて、河野会長はじめ役員・評議員55名、大学側から佐藤理事長・松重学長はじめ関係者23名出席のもと、第2回評議員会を開催しました。河野会長の挨拶の後、松重学長が挨拶を述べ、議事に入りました。

議事では、河野会長の議長のもと、出越学生支援課長から「父母会の活動状況」、「大学教育の支援事業」について報告しました。議事後、松重学長から「大学の概要と最近の取組み」について、及び榎本就職キャリア支援部長から「これからの就職活動について」、小笠学生支援担当部長から「学生生活について」の報告と説明を行いました。

また、評議員会当日は恒例の芳藍祭期間中でもあり、出席された評議員の皆様方も学生の屋内展示・模擬店・演技発表等を観覧されました。



第57回 芳 藍 祭



空前絶後の！超絶怒濤の芳藍祭！～楽しむことはジャスティス!!～

秋の深まりとともに、キャンパスが最もにぎわう伝統行事である、第57回四国大学芳藍祭が11月9日（木）の前夜祭、企画イベント（学祭 de 踊ってみた・カラオケ大会）予選にはじまり、10日（金）から12日（日）の模擬店、演技発表、企画イベント本選、13日（月）の表彰式、閉会式の日程で各部門に分かれて開催されました。

学生が、この3日間のために数ヶ月前から準備や練習に取り組んできた成果を発揮し、熱の入った演技や展示で大学祭を盛り上げました。

また、10日（金）には、本学音楽ホールで「THE BEAT GARDEN、大野わかな、POLU」のライブコンサートが開催されました。大野わかなさん、POLUのギター担当の蜂蜜金柑熊五郎さんは本学の卒業生であることもあり、多くの方がご来場くださり盛況の公演となりました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞の一覧は次項にて紹介させていただきます。

最後に、芳藍祭の開催、運営にご協力いただきました企業、団体の皆様ならびに関係者の皆様に深く感謝いたします。また、保護者の方をはじめ、学外の来賓の方や高校生の皆さん、また地域の方々も多数ご来場いただき、ありがとうございました。



委員長あいさつ

第57回 芳藍祭運営委員長

魚 谷 健 太

第57回芳藍祭、楽しんでいただけたでしょうか？

今年は、2日目の天気心配されましたが、無事に3日間晴れというコンディションの中で開催できたことを嬉しく思います。また、今年は、特に運営委員の数が少なく運営することが困難だと思っていましたが、例年にも劣らない良い芳藍祭を開催することができたのは、多

くの学科・サークル、先生方、春から頑張ってきた芳藍祭運営委員会の仲間たちのお蔭だと思います。

私自身、運営本部から見ていると、参加された学生のみなさんや一般のお客様の良い笑顔を見ることができて、ここまで頑張ってきて本当によかった！と思いました。長い歴史を持つ四国大学の芳藍祭、続けてきたことを継続していくことは、決して容易なことではないと思いますが、その1ページに携われたことをとても誇りに思います。そして、参加された皆様にとって、良い思い出になっていると思います。

最後になりますが、ここまで支えてきて下さった皆様、参加された皆様、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。



総合・同窓会長賞・二大踊り

阿波踊りクラブ

管栄3年 正司 敦士

この度、芳藍祭におきまして同窓会賞という素晴らしい賞をいただき嬉しく思っています。

大学連では1年間を通して様々なところで踊りを披露してきましたが、芳藍祭が1年間の集大成でした。ここでは今までの努力を無駄にすることなく全力で踊りきることができ嬉しく思っています。

当日は見に来て下さった方も多く、とてもうれしかったです。ありがとうございます。



沖縄県人会

児童3年 上原 柊斗

この度は総合部門同窓会長賞という素晴らしい賞を頂きましてありがとうございます。今年は新曲を取り入れ、振り付けを考えたり構成を考えたりと大変でしたが、先輩や後輩のサポートもあり、ウチナーンチュ持ち前の明るさで乗り越えました。今までの練習の成果を出し切れた本当に楽しい芳藍祭にすることができました。ご支援してくださった先生方や運営委員の方々、本当にありがとうございました。



… 第57回芳藍祭表彰一覧 …

第57回芳藍祭

テーマ・サブテーマ考案

生活科学部 生活科学科3年

白川 渚

第57回芳藍祭

表紙・ポスターデザイン考案

生活科学部 生活科学科2年

露口 優波



… 第57回芳藍祭奨励賞一覧 …

部門	賞	団体名	内容
展示発表	最優秀賞	管理栄養士養成課程3年	食物アレルギー展示
	優秀賞	書道部	書道作品展示
	努力賞	看護学科	がん検診向上プロジェクト
	感動賞	フレンドリーキッズ部	子どもと遊べるブースの提供
	創作賞	手作りおもちゃ部	木で手作りしたおもちゃ(パズル、魚つり、ビー玉落とし)
演技発表	最優秀賞	ダンス部	演技(ダンス)
	優秀賞	ジャグリング部	演技(ジャグリング)
	努力賞	音楽科	演奏
	感動賞	エアロビク・チアダンス部	演技(エアロビク・チアダンス)
	創作賞	中国武術・太極拳部	演技(中国武術)
模擬店発表		生活科学科1・3年	たません
	ハッスル賞	短大食物栄養専攻1年	パン
		バドミントン部	豚汁
総合	同窓会長賞	二大踊り	エイサー(沖縄)・阿波踊り(徳島)

展示発表 最優秀賞 管理栄養士養成課程3年

管栄3年 松浦可菜子

今回の受賞は今までの努力のすべてが形となって表れたのだと思います。4月ごろからタイトル決め、アンケート調査、資料探し等さまざまな作業を行ってきました。夜遅くまで残り資料を作成したことはとても大変でしたが今となってはいい思い出です。芳藍祭当日は、たくさんのお客様からきれいにまとめられていますねなどとお褒めの言葉を頂くことができ頑張った良かったと思うとともに、大学生活の思い出の一つとなりました。



展示発表 優秀賞 書道部



展示発表 努力賞 看護学科



展示発表 感動賞 フレンドリーキッズ部



展示発表 創作賞 手作りおもちゃ部



演技発表 最優秀賞 ダンス部

管栄3年 板東 由季

今回は初めて最優秀賞を頂くことが出来、本当に嬉しいです。今まで賞を頂くことはできても、最優秀賞には及ばずとても悔しかったです。しかし、自分の学年が幹部の年に最優秀賞を取ることができ、嬉しさと一緒に努力してくれた部員に感謝の気持ちでいっぱいです。1人では得られなかった賞なので、部員への感謝を忘れずこれからも沢山の人を笑顔に出来るダンスをしていきたいです。本当にありがとうございました。



演技発表 優秀賞 ジャグリング部



演技発表 感動賞 エアロビク・チアダンス部



演技発表 努力賞 音楽科



演技発表 創作賞 中国武術・太極拳部



模擬店発表 ハッスル賞

生活科学部 1・3年 たません



短大食物栄養専攻 1年 しこぼんパン



バドミントン部 豚汁



学祭 de 踊ってみた

優勝 田村ゼミ 児童3年 田村 美奈実

見ている人も自分たちも楽しめるよう、7人で一生懸命考え、練習を頑張ってきました。個性豊かで性格もばらばらな7人が「踊ってみた」を通して一つにまとまり、仲が更に深まりました。「やるからには優勝目指そう!」とキャラクターに似せるために動きの勉強や、ダンス、衣装、曲と全てに力を入れたので、優勝をすることができ、本当に嬉しかったです!! これからも、この7人で頑張っていきたいです!!



カラオケ大会

優勝 Hand Sign 児童4年 早川 大河

この度多くの人の支えにより、カラオケ大会を優勝することができました。僕達に投票してくださって本当にありがとうございます。僕達はゼミ活動の一環で手話を学ぶ機会がありました。そこで手話の美しさや魅力を知り、一人でも多くの人達に手話を知ってもらいたいと思い、歌に手話とダンスを取り入れたパフォーマンスを行いました。これをきっかけに手話の魅力を多くの人が気づいてくれると僕達も嬉しいです。



スポーツ分野 各クラブの活躍

● 陸上競技部 ●

第23回夏季デフリンピック 村尾茉優選手（生活4年） 女子ハンマー投 5位入賞

平成29年7月18日～30日に渡り、トルコ共和国で開催された、第23回夏季デフリンピック（聴覚障害者の五輪）にて、陸上競技部の村尾茉優選手（生活4）が、日本代表として女子ハンマー投に出場し、48m94で5位に入賞しました。写真は村尾選手の出身地である阿波市の藤井市長を表敬訪問した際のもので、



中央が村尾茉優選手



幸長慎一選手

また、幸長慎一選手（生活2）は9月8日～10日の3日間に渡り、福井運動公園で開催された天皇賜盃第86回日本学生陸上競技対校選手権大会の男子円盤・砲丸投両種目で、準優勝、その他の大会でも軒並み好成績を収めました。

その他にも、第40回中国四国学生陸上競技選手権大会の女子円盤投で片山明莉選手（児童1）が優勝、女子ハンマー投で泉花奈選手（生活1）が2位等、好成績を収めました。

次年度も在学に加え、有力な新入生とともに切磋琢磨し、更なる活躍が期待されます。

● 女子サッカー部 ●

第26回全日本大学女子サッカー選手権大会 四国代表として3年連続3回目の出場

四国大学イーグレッツが、四国代表として出場した第26回全日本大学女子サッカー選手権大会（インカレ）1回戦が平成29年12月25日に三木総合防災公園にて行われました。東海2位の愛知東邦大学相手に健闘するも残念ながら1-2で敗退しましたが、この創部3年で選手権大会3年連続出場の経験を活かし、一期生が4年生になる来季も更なる躍進が期待されます。



● 女子バレーボール部 ●

第53回四国大学バレーボール秋季リーグ戦大会 II部リーグ優勝によりI部リーグ復帰

平成29年10月21日～22日、29日に、徳島市立体育館および四国大学体育館で開催された、第53回四国大学バレーボール秋季リーグ戦大会で、女子バレーボール部がII部リーグ優勝、さらには入替戦に勝利し、I部リーグに再び咲きました。その他、県内の大会でも好成績を収めており、来期はI部リーグでの活躍が期待されます。



● 女子ソフトテニス部 ●

第64回中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス選手権大会 女子大学対抗戦・女子個人選手権で優勝

平成29年11月24日～27日に、愛媛県今治市営スポーツパークで開催された第64回中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス選手権大会の大学対抗戦(団体戦)で四国大学Aチーム【山本 菜々子(メディア1)、森口 美咲(児童1)、



左から古川、山本、藤川、森口

藤川 優花(児童1)、古川 はるか(児童1)】が優勝、Cチーム【藤城 智美(生活1)・三谷 咲絵(児童1)・岩見 裕香(管栄1)・印藤 愛莉(生活1)】も3位入賞を果たしました。

さらに、同大会の女子個人選手権で山本・森口ペアが優勝し2冠を達成、上原 璃乃(生活1)・絵内 帆乃佳(児童2) ペアも3位入賞を果たすという快挙を成し遂げました。

また、他にも、第63回中国・四国学生ソフトテニス大会、第60回秋季四国学生ソフトテニス選手権大会等でも団体・個人戦とも優勝等、秋以降の中国・九州地区を含む四国規模の主要大会のタイトルをすべて獲得しました。新入生を加え今年度本格始動し、1年生を中心とする若いチームということもあり、今後更なる飛躍が期待されます。

● 弓道部 ●

第66回住吉大社全国弓道大会 男子団体の部・女子個人の部で優勝

平成29年5月1日に、住吉大社特設遠的射場で開催された第66回住吉大社全国弓道大会の男子団体の部【西 智生(メディア3)、浅岡 祐介(児童2)、岩切 淳哉(経情2)】で優勝、



左から岩切、西、浅岡、只川

女子個人の部で只川 友理奈(児童1) 選手が優勝しました。

その他、四国インカレ、県内の大会等でも好成績を収めており、今後益々の活躍が期待されます。

● 女子バスケットボール部 ●

第69回全日本大学バスケットボール選手権大会四国地区予選 四国インカレに続く優勝で四国大会での2冠を達成

平成29年10月14日～15日に、徳島医療福祉専門学校体育館等で開催された第69回全日本大学バスケットボール選手権大会四国地区予選で女子バスケットボール部が優勝を果たし、四国代表として全国大会出場権を獲得しました。7月の四国インカレに続く連覇となります。また、大会の最優秀選手に香川りお(児童4)、優秀選手に金城 菜子(看護3)が選ばれました。11月28日にカメイアリーナ仙台で行われた全国大会1回戦では強豪の筑波大学に挑み、残念ながら敗退しましたが、この全国大会での経験を活かし、来季も活躍が期待されます。



第68回四国地区大学総合体育大会 — 参加競技で各クラブ健闘 —

平成29年6月24日～7月9日の期間、週末を中心に徳島県内各会場で第68回四国地区大学総合体育大会（四国インカレ）が開催されました。本学で6月22日に結団式が行われ、大会には13競技に304名が参加しました。

団体戦では日頃の練習の成果を発揮し、女子の部バスケットボール部が昨年に引き続き2連覇。弓道部（男子団体）、男子ソフトボール部が準優勝に輝きました。

また、個人戦では女子の部で水泳部の矢部育実選手（書道3）が50m・100m平泳ぎ2種目での3連覇を達成。陸上競技部は5種目で優勝を果たし、女子フィールドの部において1位を獲得しました。



第68回四国地区大学総合体育大会成績

（男子・団体）

競技種目	成績
弓道	準優勝 男子団体（2年連続）
ソフトボール	準優勝

（女子・団体）

競技種目	成績
バスケットボール	優勝（2年連続）
陸上競技（フィールド部門）	1位
女子ソフトテニス	3位

（男子・個人）

競技種目	成績
陸上競技	100m 優勝 向井 渉太郎（メディア3） 砲丸・円盤投 優勝 幸長 慎一（生活2）両種目大会新
弓道	準優勝 猿田 魁斗（経情3）
少林寺拳法	単独演武（4級～見習い）2位 松保 雄大（経情1）

（女子・個人）

競技種目	成績
水泳	50m・100m平泳ぎ 優勝 矢部 育実（書道3）両種目3連覇 200m自由形 3位 伊藤 岬（幼教1）
女子ソフトテニス	女子個人戦 準優勝
陸上競技	砲丸・円盤投 優勝 片山 明莉（児童1）円盤投大会新 砲丸投 準優勝 泉 花奈（生活1）3位 波多 彩希（国際2）

総合成績 男子総合7位（16大学） 女子総合8位（15大学）

文化系クラブ・芸術分野での活躍

第22回全日本高校・大学生書道展

文学部書道文化学科・大学（団体）の部で最優秀校に選出

平成29年8月22日～27日の期間、大阪市立美術館において、公益社団法人日本書芸・読売新聞社主催 第22回全日本高校・大学生書道展が開催され、書道文化学科が大学（団体）の部で最優秀賞に選ばれました。個人賞各賞にも多くの学生が入賞し、書道展大賞は[仮名]山下 千聡（書道4）・喜屋武 美紘（書道4）・中野 佑衣（書道4）・後藤 知美（書道3）、[篆刻]渡邊 浩樹（書道4）、[漢字]上田 晟宗（書道3）が受賞しました。



第102回 二科展デザイン部門

生活科学科デザインコース9名が入選

平成29年8月、生活科学科デザインコースの学生9名が第102回二科展デザイン部門で入選しました。二科展デザイン部門は、日本でも歴史のある公募点の一つで、審査はプロ・アマ同時審査で非常に厳しい中、昨年に引き続き9名が入選を果たしました。作品は9月9日～18日の期間、東京六本木・国立新美術館で展示されました。



山本 真子（4年）

第65回全日本吹奏楽コンクール

吹奏楽部が大学部門で2年連続銅賞受賞

平成29年7月28日～30日に徳島県大会、8月19日～20日に四国支部会が鳴門文化会館にて開催され、吹奏楽部がいずれも金賞を獲得しました。その結果、四国地区代表として10月28日に、倉敷市民会館で第65回全日本吹奏楽コンクールに出場し、大学部門で2年連続の銅賞を受賞しました。昨年に続く大舞台への出場は部員の今後の活動の励みとなり、今後も更なる活躍が期待されます。



田中見那美（3年） 田中 綾乃（2年） 住友 月美（1年） 高井 菜穂（1年）



井村 圭穂（2年） 小川 菜々（4年） 杉本 早（2年） 社頭 菜央（3年）

文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択 — 四国大学研究ブランディング事業の概要 —

「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップのもと、大学の特色ある研究を基軸として全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学に対し、施設費・装備費・設備費・経常費を一体的に文部科学省が支援するもので、全国の私立大学から応募のあった188件のうち60件が採択され、本学が申請した『阿波藍』の新たな価値創造を目指した文化的・社会的研究及びその魅力発信・人材育成拠点」もそのひとつに選ばれました。

「藍文化の体系化」「藍の栽培方法と染め技法の技術開発」「藍の効能の科学的検証」「藍を生かした新たな産業の興隆」「藍の知の拠点づくり」の5つからなる取り組みを、「SUBARU 事業本部」「新あわ学研究所」を中心におこない、地域の自治体・産業界とも連携しながら5カ年計画で推進し、地域活性化に貢献する大学として、四国大学と言えば「阿波藍の研究」と言われるような、「阿波藍」研究の拠点となり、その魅力を世界に発信できるよう、全学をあげて取り組んでいきます。

また、この研究活動成果を本学学生に対する地域教育にも還元し、伝統文化とも言える藍について、歴史や現状を学ぶ対象だけに留めず、新たな視点での地域の活性化に貢献できる人材育成にも取り組んでいきます。

四国大学研究ブランディング事業

SUBARU事業

Shikoku University-Brand Accumulation as Research University



第15回四国大学青春川柳コンクール

平成29年11月11日に2017年度四国大学青春川柳コンクールの表彰式及び入選作品の展覧会が行われました。応募総数1693人、応募句数5470句の中から特別賞10句、入選40句、佳作100句が選ばれました。表彰式では特別賞と入選の50名が表彰され、受賞者はそれぞれの川柳に込めた意味や思いを語ってくれました。たくさんのご応募ありがとうございました。



【特別賞】(10句)

2017 四国大学青春川柳大賞

波ひいて残った砂には貝殻が

堀 遥 (徳島県穴吹高校)

四国大学学長賞

帰り道僕もスマホも電池切れ

伊勢 貴洋 (徳島県城東高校)

四国大学理事長賞

逆立ちをすれば地球が持ちあがる

中野 弘晶 (奈良県奈良市)

四国大学副学長賞

メモを取れ！言えばスマホで写メを撮る

藤永 真里 (徳島市)

四国大学文学部長賞

線路沿い吐息に揺れた白い花

惣田 幸 (徳島県海部高校)

特等席塾の窓から花火見る

伊藤 萌絵 (岡山一宮高校)

四国大学学生支援担当部長賞

汗滂沱時給七百五十円

菅 伸明 (愛媛県新居浜市)

初デート少し低めの靴選ぶ

マリーナ (大阪・藤井寺市)

四国大学図書館長賞

何もかも短縮するな母が言う

井馬美悠菜 (徳島・富岡東高校)

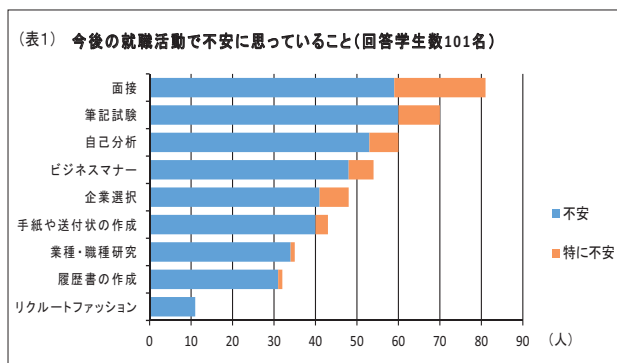
お母さん怒るとメールが丁寧語

安藝 大地 (徳島科学技術高校)

～ 就職支援課より～

現行の就職・採用活動スケジュール（採用広報解禁 3月1日、採用選考解禁 6月1日）となって3年が経過しました。大卒の求人倍率が1.7倍台の高水準で推移する中、年を追うごとに採用活動の早期化傾向が続き、6月までに内々定を出す企業も少なくありません。また、近年、秋から冬にかけて、1日～2日の短期インターンシップを採用プレ期の活動として実施する企業も急増しています。就職支援課では、学内の就職ガイダンスやセミナーなど様々な機会を通して、早めに就職準備に取りかかるよう注意を促しています。しかし、卒業を間近に控えた時期になっても内定を得ていない学生がいるなど、アクティブに活動する学生との二極化が進行しているのが実状です。

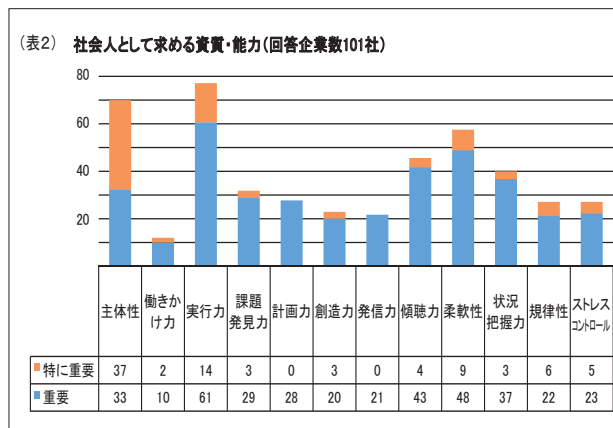
こうした企業の実態や学生の動きに対応して、低学年次から就職への意識付けを図ることを目的に、大学2年生対象就職ガイダンス（講演会）を10月に開催しました。参加学生の満足度が高かったことから、次年度も継続実施したいと考えています。また、低学年生への支援のあり方を検討するため、参加学生に対して就職活動に関するアンケート調査を実施しました。表1は「就職選考に対して不安に思っていること」についてのアンケート結果です。（このアンケートは9項目から複数選択可としています。）



「面接」を不安視する学生が80.1%と最も多く、筆記試験(69.3%)、自己分析(59.4%)、ビジネスマナー(53.5%)の順に不安を感じているようです。一方、企業選択(47.5%)、業種・職種研究(34.7%)は半数以下となっています。業種・職種研究を十分行わず、安易に企業選択することは、早期離職の一因にもなります。今後、思い込みやイメージにとらわれず業種・職種研究を幅広く行うよう指導していきたいと考えています。なお、学生が一番不安に感じている面接に関しては、その対策として面接対策講座、グループディスカッション対策講座を開講し、個別の面接練習も実施していま

す。面接練習では、面接作法はもとより、学生の自己分析や企業研究をどのように自己PRや志望動機につなげていくのかを指導しています。さらに、面接練習以外にも、就職相談や履歴書の添削指導など、就職に関するあらゆる相談を受け付け、学生の就職選考に対する不安をすこしでも和らげるよう支援を行っているところです。

学生の意識調査と併行して、地元企業を対象に「地域人材ニーズ調査」(平成29年度は101社)を毎年実施しています。表2は、「社会人として求める資質・能力について」優先順位の高い5項目と、そのうち特に重要と思われる項目を選んでいただいた結果です。



「主体性」、「働きかけ力」など12の力は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎力」として、2006年に経済産業省が提唱したものです。「特に重要」と「重要」をあわせれば、実行力(74.2%)が最も多く、主体性(69.3%)、柔軟性(56.4%)と続いています。また、「特に重要」な力としては、主体性を挙げる企業が36.6%あり、前に踏み出す力が強く求められています。

前に踏み出す力は、普段の行動の中で「主体的に目標を立て、物事に計画的に取り組む」、「自らの役割を認識し、それにふさわしい行動をとる」、「変化を恐れないチャレンジ精神を持つ」等に表れます。学生生活の様々な場面で、充実した学生生活を送ることが就職に反映されるのです。大学での学びは講義だけではありません。四国大学ではサークル活動、ボランティア活動、インターンシップなど、多種多様な学びの機会が開かれています。学生の皆さんは主体的かつ積極的に大学生活を送ってください。キャリアセンターでは、学生の実態や企業のニーズも踏まえながら、新卒者全員の正規就職を目指して支援を行っていきます。



就職ガイダンス



学内企業研究会



個人面談の様子

平成29年度 四国大学学生プロジェクト支援事業 (学生支援 GP)

平成29年度学生プロジェクト支援事業に、学生が主体的に取り組む教育研究、社会・地域貢献に関するプロジェクトに15件の応募がありました。書類審査、ヒアリングの結果、15件すべてのプロジェクトが採択され、6月に認証式を行いました。前期にて終了した短期プロジェクト『こまった訓 ～炊きだせ！防災意識～ in 四国大学』は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告、その他14件もパネル展示による中間報告を行いました。

各プロジェクトとも当初の計画どおり進捗しており、特に地域活性に貢献しているプロジェクトは、テレビ・新聞等マスコミの取材を受ける等、注目されています。今後も年度末まで長期プロジェクト14件は活動の続け、平成30年4月17日に本学共通講義棟にてプレゼンテーションによる活動報告会を予定しています。

平成29年度 学生支援 GP 採択プロジェクト一覧

No	新規 継続	期間	区分	プロジェクト名	代表者			メンバー数	指導教員
					所属	学年	氏名		
1	継続	長期	地域貢献	よみがえれ！地域の文化遺産 一四国大学発信。公開・展示へ向けて。	文学部日本文学科	3	森本 茜	8	須藤 茂樹
2	継続	長期	地域貢献	四国大学発 ブックトークプロジェクト ～広げよう！えほんの世界～	文学部日本文学科	3	寺内絵梨佳	6	中林 幸子
3	継続	長期	地域貢献	届け書道の魅力!! ～かぜまーる×地域活性化～	文学部書道文化学科	3	玉城 千博	5	太田 剛
4	新規	長期	地域貢献	商業書道し隊	文学部書道文化学科	2	那須 彩乃	9	亀石 二三
5	継続	長期	地域貢献	四国大学発 国際交流サークル 一教室を飛び出せ！地域に広げる国際交流の輪～	文学部国際文化学科	3	河野 姫花	24	西島 俊彦
6	新規	長期	その他	経営情報学部活性化プロジェクト	経営情報学部経営情報学科	2	遠藤 万琴	30	萩原 八郎
7	継続	長期	地域貢献	徳島に行ってみ隊 ～僕たちが伝える徳島の魅力～	経営情報学部メディア情報学科	3	中川 湧登	6	辻岡 卓
8	継続	長期	地域貢献	Smile Connected Dance ～人の心を繋ぐ～	生活科学部児童学科	4	濱崎 良藍	15	田村 典子
9	継続	長期	地域貢献	子育て応援パフォーマンス しこぼんず	生活科学部児童学科	4	灘井 拓己	17	兼間 和美
10	継続	長期	地域貢献	ボランティアスピリッツ、若い力で地域貢献IIーゴールデンZクラブー	生活科学部児童学科	3	野上 綾音	110	山本 哲生
11	継続	長期	教育研究	今だからこそ分かること ～制限された環境での保育について～	生活科学部児童学科	3	中村 陽和	9	加藤 孝士
12	継続	長期	地域貢献	児童学科盛り上げ隊 (J.P.)	生活科学部児童学科	3	富田 裕茄	54	田村 典子
13	継続	短期	地域貢献	こまった訓 ～炊きだせ！防災意識～ in 四国大学	生活科学部管理栄養士養成課程	4	佐藤 茜	8	マク フェリー
14	新規	長期	教育研究	看護学部発!! 次世代ナインゲルプロジェクト ～足湯 (足浴) を科学する～	看護学部看護学科	4	中島ゆうな	14	山口 豪
15	新規	長期	教育研究	シコオン Radio project ～FMラジオで発信する音楽の魅力～	短期大学部音楽科	2	大西さやか	40	増田 篤志



学生支援 GP 認証式 (6月)



商業書道し隊



こまった訓～炊きだせ！防災意識～ in 四国大学



看護学部発!! 次世代ナインゲルプロジェクト ～足湯 (足浴) を科学する～

◆ 四国大学後援会総会開催 ◆

平成29年11月10日に、平成29年度後援会総会が、会長をはじめ役員・会員14名、大学側から佐藤理事長他関係者18名の出席のもと開催されました。議事では、平成28年度決算報告、平成29年度予算案、役員改選などが審議され、原案どおり承認されました。次に、大学の現状報告として松重学長から「大学の概要と最近の取組みー魅力ある大学を目指してー」と題して、公認心理師の養成の開始、各種スポーツ大会での活躍、特徴ある大学へ向けて先進的地域貢献型大学として徳島で学び、地域社会・地域に貢献する学生の育成など様々な取り組みなどの報告がありました。会員からは後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



OPEN CAMPUS

四国大学 オープンキャンパス

2018

四国大学

文学部
経営情報学部
生活科学部
看護学部
短期大学部

第1回 4/28 [sat]
第2回 6/17 [sun]
第3回 7/16 [mon]
第4回 8/5 [sun]
第5回 8/25 [sat]
第6回 9/17 [mon]
10:00-16:00

見つけよう 君の未来